

施策番号Ⅶ－5－1

**戦傷病者、戦没者遺族等に対して、援
護年金の支給、療養の給付等の援護
を行うこと**

平成25年7月11日

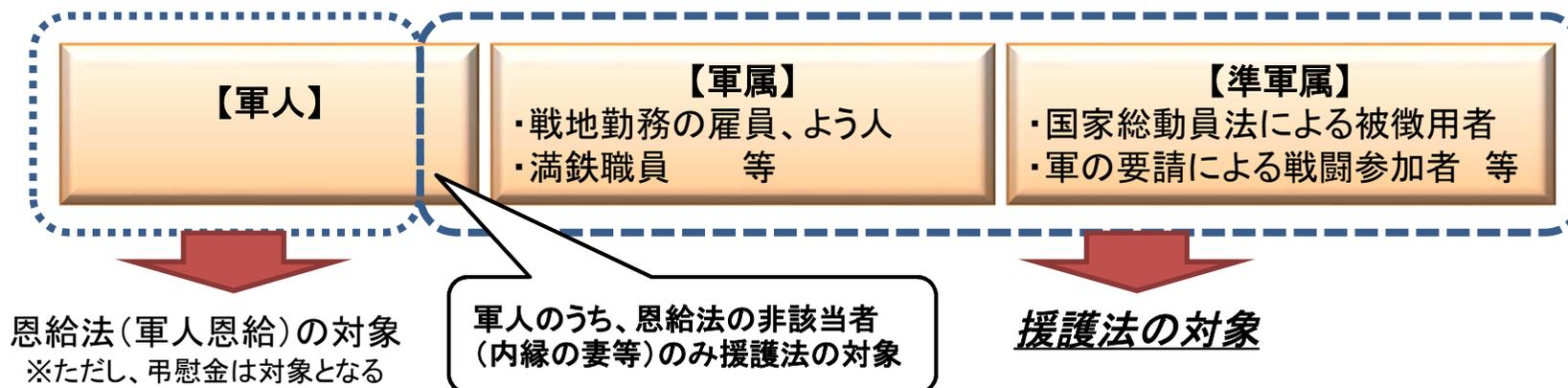
厚生労働省社会・援護局

戦傷病者戦没者遺族等援護法に基づく支援について

目的

国と雇用関係又はこれに類似する特別の関係にあった者(軍人、軍属、準軍属)が、公務等により負傷・罹病又は死亡したことに對し、国が国家補償の精神に基づき使用者の立場から補償。

対象者



給付内容

障害年金	障害の状態になった戦傷病者本人に給付 ※受給者数: 1, 633人(平均年齢84.44歳)	9,729,100円～743,000円 (障害の程度による)
遺族年金 遺族給与金	配偶者等の遺族に対して給付 ※受給者数: 10, 190人(平均年齢91.04歳)	1,966,800円～335,000円 (公務性の程度による)
弔慰金	配偶者等の遺族に対して給付(一時金) ※受給者数2, 085, 117人(累計)	50,000円(一律)

※ 受給者数は、平成25年3月末現在

昭和館の概要

昭和館は、戦没者遺族に対する援護施策の一環として、戦没者遺族を始めとする国民が経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世代の人々に伝えていくために、厚生労働省が平成11年3月に開設した国立の施設である。

昭和館においては、常設展示室における実物資料の展示等を行うとともに、特別企画展を毎年開催している。また、図書・映像・音響資料の閲覧事業、関連情報提供事業等についても併せて行っている。

1 施設の概要

(1) 場所

東京都千代田区九段南1-6-1

(2) 開館時間等

開館時間：午前10時～午後5時30分（入館は午後5時まで）

休館日：月曜日（祝日又は振替休日の場合はその翌日）、
12月28日～1月4日

(3) 面積・構造

敷地面積：2,138㎡

構造：地上7階 地下2階 高さ 約41.8m鉄骨造一部鉄骨鉄筋
コンクリート造（延床面積8,514㎡（2階広場を含む。））

(4) 竣工 平成10年12月25日

(5) 開館 平成11年 3月27日

2 予算額

(1) 総経費（建設費等） 123億円

(2) 平成25年度予算 431百万円（運営費）

3 運営

財団法人日本遺族会に運営を委託している。

なお、設置主体である厚生労働省に「運営有識者会議」（座長 坂巻 熙 淑徳大学名誉教授）を、また、運営主体である財団法人日本遺族会に「運営専門委員会」（委員長 宮脇岑生 流通経済大学教授）を設置し、両委員会の意見を聴きながら、公平かつ中立的な運営を図っている。

しょうけい館の概要

1 設置目的

しょうけい館は、戦傷病者及びその妻等が体験した戦中・戦後の労苦に係る資料及び情報を収集し、保存し、展示することにより、後世代にその労苦を伝えることを目的とする。

2 主な事業

(1) 展示事業

「戦地における労苦」と「復員後の労苦」に係る実物資料や情景展示を行う。

(2) 資料収集事業

戦傷病者とその家族が体験した労苦を伝える資料（実物資料、文献図書、写真、体験証言ビデオ等）の所在調査と収集。

(3) 情報の提供・発信事業

館が収集・調査した資料、内外の文献図書情報、証言映像などを情報提供する。

3 施設の概要

(1) 場 所 東京都千代田区九段南1-5-3共同ビル2号館

(2) 展示面積 698㎡（1階338㎡ 2階360㎡）

※施設は民間ビルを借り上げたものであり、新たに施設を建設したものではない。

4 開館

平成18年3月20日（一般公開は3月21日から）

5 施設利用者数

延べ862,575人（開館から平成25年5月末現在）

6 予算額

(1) 設置経費 4億3,200万円

(2) 平成25年度予算額 1億6,200万円（運営・事業経費）

7 運営

現在は財団法人日本傷痍軍人会に運営を委託しているが、同法人は平成25年11月末に解散する予定であるため、同年12月以降のしょうけい館の運営については、新たに公募等で選定する民間団体等に委託することとしている。